

作成日	平成31年2月14日
校長名	菅原 聡

1. 学校教育目標

「心ゆたかに 未来をひらく 東小の子」

【すすんで学ぶ子（知）】

・意欲的に学習に取り組み、考えをしっかりと表現できる子の育成

【仲よく助け合う子（情）】

・豊かな心を持って高め合い、仲よく助け合うことのできる子の育成

【ねばり強くやりとげる子（意）】

・目標を持ち、それに向かって粘り強くあきらめずに努力する子の育成

【明るく元気な子（体）】

・心もからだも健康で、明るく元気に活動する子の育成

2. 学校経営の基本方針

かんだうのある学校～感動・歓働・汗動のある学校～

- ①子どもたちに「感動」を与える学校
- ②教職員が「歓働」を共有する学校
- ③地域や保護者、教職員の「汗働」に支えられた学校

3. 学校課題

**自己有用感に裏付けられた自尊感情を持つ子どもの育成
～一人一人が主役である東小っ子・感動・歓働・汗動のある学校を創造する～**

4. 経営の重点

- ① 義務教育9年間を通して「生きる力」を育む小中一貫教育の充実を図る。
- ② 道徳教育の充実を図り、学校課題の解明を展開する。
- ③ 経営プログラムの実践化を図り、マネジメントサイクル（R-PDCA）を確立する。
- ④ 特別支援教育の充実を図る。ユニバーサルデザインの授業実践の具体化を図る。
- ⑤ 地域・保護者との連携を図り、信頼と責任のもとで実践化を図る。

※評価の数値は4点満点で表す。3.6点以上は「十分満足」、3.2～3.5点は「満足」、2.6～3.1点は「概ね満足（見直しも必要）」、2.5点以下は「改善を要する」。

5. 自己評価・学校関係者評価項目

評価項目		自己評価			学校関係者評価 結果および意見	
大項目	小項目	取組状況と成果・課題	評価	改善策		
1 学校経営	教育課程	教育目標の具現化に向け、教職員相互の和と信頼、協働による学校経営を推進している。	様々な調査等を活用しながらマネジメントサイクルを確立し、学校経営を推進できた。	3.6	大曲地区としての教育目標の具現化に、3校で協力して取り組んでいく。	今後も保護者、地域、3校一体となった学校経営に期待する。
	教育課程	教育課程の編成・整備と管理・実施・評価が充実し、社会に開かれた教育課程の編成準備がなされている。	地域人材を積極的に活用した教育課程を編成し、充実した教育活動を展開できた。	3.8	新学習指導要領の完全実施に向けて、確実な準備を行う。	道徳科や外国語科等、確実な整備がなされている。
2 道徳教育	生徒指導	道徳科の日常実践化がなされ、心を耕し、心豊かな児童を育てる取組が推進されている。	校内研究を中心に、道徳科の授業や評価について全教職員で研修し準備を整えた。	3.8	教育活動全体で行われる道徳について、さらに取組を継続していく。	今後も取組が継続されることを期待する。
	生徒指導	いじめ・不登校予防対策指導の日常化と早期発見・早期対応の指導体制が充実している。	日常観察はもちろん年4回のアンケートを活用し、いじめの早期発見、対応に努めることができた。	3.6	学級の支持的風土を高める指導を充実し、いじめや問題行動の未然防止に努めていく。	SNS等の指導を含め、問題行動の未然防止を継続してほしい。
3 学習指導	学習指導	指導方法や指導体制の工夫改善など、個に応じた指導の充実を図っている。	少人数・TT、専科（理科・外国語）等工夫した指導体制を充実させることができた。（指導方法工夫改善事業）	3.8	今後も確実に学力向上につなげることができるよう、指導の工夫を継続していく。	今後も指導体制の充実にも努めてほしい。
	学習指導	教職員の共通理解のもと、学力の基盤（学習準備力、学習態度、学習技能、自己学習力）となる力の育成に向けた取組が推進されている。	大曲スタンダードや家庭学習の手引きを意識し、統一した学習指導に取り組むことができた。	3.7	中学校とのつながり（学習の仕方、教科の系統）を意識した学習指導を、さらに充実させていく。	特に家庭学習の指導について充実した取組を期待する。
4 健康・安全指導	健康・安全指導	外遊びの奨励や体育的諸活動、食育や全校清掃等を通して、健康な生活に対する意識の高揚と取組を推進している。	朝のちょいスポ、ホールでの運動用具設置等を通して、日常的に体を動かす機会を設け、体力の向上を図ることができた。	3.8	学校での日常的な取組だけでなく、家庭への啓蒙を図り、家庭と協力して取り組んでいく。	外遊びやラジオ体操等、家庭への啓蒙をお願いしたい。
	健康・安全指導	廊下歩行指導、交通安全教室や登下校指導などを通して、校内外の事故防止に努める取組が推進されている。	P.T.A朝の交通安全指導や民生委員さんはじめ多くの地域の方々にご協力いただき、安全な登下校のための取組ができた。	3.7	校内の歩行指導のほか、自転車の乗り方や歩道の歩き方等の指導も継続して行っていく。	自転車の乗り方や、冬の防寒等について、指導の継続をしてほしい。
5 特別支援教育	特別支援教育	特別なニーズのある子どもの共通理解が図られ、個に応じた支援体制づくりが推進されている。	特別支援コーディネーターを中心に、情報交流や支援体制の構築、保護者の教育相談等を行うことができた。	3.4	情報交流や支援体制をより充実させ、教育相談にも気軽に取り組めるように周知していく。	今後も正しい理解を促すための、情報発信に期待する。
6 北広島市共通実践課題	北広島市共通実践課題	総合的な学習の時間「ひろば」や児童会活動を通して、環境・福祉・人権・平和について適切な取組が推進されている。	様々な学年で、年間を通して外部講師を活用した学習に取り組み、より深い学びの機会を作ることができた。	3.7	CSにおける実践へと整理し、さらに充実した取組となるように計画していく。	効果的な実践が行われている。今後も充実した取組を期待する。
7 幼保小の連携	幼保小の連携	幼保小の教育連携強化をめざした取組を推進している。	園児を招いての交流活動を行ったり、教員同士の交流に参加したり、連携強化の取組を推進できた。	3.8	今後も連携強化を図り、活動の幅を広げていく。	今後も幼保小の連携強化を継続してほしい。
8 職員研修	職員研修	個々の意欲と創意を生かす研修体制が確立され、教職員としての資質を高める取組が推進されている。	道徳をはじめ外国語・体育等の実技研修にも取り組み、教職員の授業力向上に向けた取組ができた。	3.7	新学習指導要領完全実施に向け全ての教科を意識した授業力向上の取組を行っていく。	先進的な取組がなされている。今後も教師の資質向上に期待する。
9 開かれた学校	開かれた学校	適切に情報を発信し、P.T.A活動の活性化、地域との連携を強化する取組が推進されている。	HP、学校だより（大地）、学習通信（東風）を発行し、学校の様子を発信することができた。	3.5	より分かりやすく、伝わりやすい情報発信を工夫していく。	さらにわかりやすい情報発信の工夫に期待する。
10 小中一貫教育の推進	小中一貫教育の推進	中学校区のめざす子ども像の共有を通して、子どもたちの確かな学びと確かな育ちを支える体制づくりが推進されている。	小中一貫教育本格実施1年目として、目指す子ども像に向かって、3校共通した取組について充実・発展させることができた。	3.5	本格実施2年目に向け、「充実・発展」から「深化」への具体策を立てて、取り組んでいく。	「働き方改革」を踏まえた、小中一貫教育の充実に期待する。